



# 議会だより

No. 123

令和2年1月

発行/鳥取県日野町議会

- 第7回臨時議会 (10月25日)
- 第8回12月定例議会
- 平成30年度決算審査特別委員会  
・議会の指摘に対する町の改善策
- 一般質問 6名

真住公民館手芸クルー7の皆さん







ひのっこ保育所室内電子サイレン設置予定場所

- 鳥獣被害対策事業
  - ・有害鳥獣捕獲奨励金の増加
  - ・豚コレラ緊急対策事業
  - 102万円
- 日野町交流センター
  - ・浄化槽修繕
  - 53万2千円
- ひのっこ保育所
  - ・電子サイレンと無線式非常ボタンを取り付ける。
  - 27万円

- 日野中学校
  - ・体育館修繕
  - 24万9千円
- 公用車
  - ・公民館連絡車の更新
  - 392万9千円
- 国民健康保険特別会計への繰出金
  - 234万3千円
- 公共下水道事業特別会計への繰出金
  - 2718万7千円

- 国民健康保険特別会計
  - 7371万円を追加（総額4億2419万9千円）
  - 保険給付費等
  - 7371万円（県支出金）

- 介護保険特別会計
  - 126万5千円を追加（総額7億2607万1千円）
  - 訪問介護等
  - ・介護予防・生活支援サービス事業等
  - 126万5千円



マンホール点検作業

- 簡易水道特別会計
  - 2万7千円を追加（総額764万1千円）
  - 職員手当の変更
  - ・人件費
  - 2万7千円
- 公共下水道事業特別会計
  - 9693万8千円を追加（総額2億8115万2千円）

- 老朽化したマンホールポンプ機器を更新
  - ・マンホールポンプ機器更新費用を国庫補助金対象とするための下水道ストックマネジメント基本計画の策定
  - 5091万9千円
  - 4600万円

- 日野町職員の給与に関する条例の一部改正
  - ・給与表の改正（月例給を平均0.1%引き上げ）
  - ・住居手当の改正
  - ・勤勉手当の支給率の引き上げ

### 条例制定。条例改正

- 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定
  - ・令和2年4月1日施行の新地方公務員法により設けられる会計年度任用職員に關し必要な事項を定める。
- 消防団条例等の一部改正
  - ・成年被後見人等を消防団員の欠格事項とする項目を削除する。

# 年頭のごあいさつ



日野町議会議長 小谷 博徳



明けまして おめでとう  
ございます  
令和2年、年の始まりをすがすがしく希望を寄せてお迎えのことと拝察いたします。  
昨年中は、日野町議会に暖かくも心のこもった叱咤激励をお寄せいただき、感謝をし、お礼を申し上げます。  
「変」革の令和元年。本年は「始」まりの歳、と私なりに漢字を当てはめてみました。  
町は生誕61年に向けたスタートであり、千支も子年で始まりです。  
議会も新年に向けて、町民の負託に応える議会、町民の声を聞く「出かける議会」、そして「政策提案能力」を高めて執行部と切磋する議会を目指す所存であります。  
本年も変わりませず、ご協力、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 令和元年12月定例議会開催（第8回定例会）

令和元年第8回定例会は会期を12月5日から12月13日までの9日間とし、一般会計補正予算と特別会計補正予算、条例の制定、条例の一部改正などを原案どおり可決しました。一般質問では6人の議員が質問をしました。

### 補正予算

#### 一般会計

1393万6千円を追加  
（総額35億1361万8千円）

#### 予算の主なもの

- 公式キャラクターPR
  - ・町の公認キャラクター「しいたん」の商標登録申請を行い、PR用ピンバッジ300個を作成する。
  - 45万円



#### 健康促進事業

- ・胃がん内視鏡検診、脳ドック及び人間ドック等の利用者増による追加予算
- 80万1千円

#### 斜面崩壊復旧事業

- ・金持地区（野谷）の斜面がさらに増破したため増工する。
- 530万円



斜面崩壊復旧現場（野谷）

#### 根雨地区浸水対策事業

- ・雨水排水対策工事実施に向けて排水路新設及び既設水路改修のための測量・設計を行う。
- 825万円



根雨地区オオサコ谷川工事中看板



○日野町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

・災害援護資金は、保証人を立てる場合は無利子とし、保証人を立てない場合は据置期間中は無利子とし、据置期間経過後はその利率を延滞の場合を除き年1パーセントとする。

・月賦償還による償還方法を追加する。

### 日野町交流センターの指定管理者の指定

○日野町交流センターリバーサイドひの指定管理者を株式会社M・Aサービスに指定することを可決

## 質疑があった主な議案

○日野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について

議員 会計年度任用職員について、募集方法、定年、昇給、契約期間、退職手当、勤務評定、育児休業、選挙の補助、宿日直についてどの様になっていますか。また、人件費が概ね1500万円増え、町の財政に響いてきます。国

に対して地方交付税等の要望運動をしていただきたいと思いますが。

課長 公募を行い、選考します。令和2年度の募集については未定。定年はない。昇給はある。昇格はない。契約期間の上限はない。フルタイム職員には退職手当がある。継続契約や期末手当の決定のため勤務評定はします。育児休業制度はある。制度上は、選



リバーサイドひの食堂



根雨地区雨水排水対策図

## 令和元年第7回日野町議会臨時会 令和元年10月25日

### 町有地の無償貸付

○介護老人保健施設等の用地として町有地を無償で貸し付けするもの。

貸付先 医療法人社団日翔会理事長 湖山聖道

町長 本件は、町有地を議会の議決を得ずに無償貸し付け契約をしていました。このことは、行政の手続き上の瑕疵による契約で無効となり、改めて契約を有効にするために議会に議決をお願いするものであります。

手続きの不備で、契約者をはじめ関係者の皆様に大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げますとともに、今後は、法令を順守して行政運営を努めますまいります。



介護老人保健施設

は謝罪されましたが、法令順守についてどのような対応をされていますか。

町長 総務課に法令担当があり、チェック体制をとっています。改めて確認するよう指示を徹底することとしてまいりました。

議員 このような事案は以前にも発生しており、町長

議員 どのような過程で町長は決済なされたのか伺い

ます。課長 担当課で決裁書類を作成し、総務課を経由し町長の決済を求めたもので

議員 今後、町長の対策案を改めて求めます。

町長 今後適正な業務執行ができるよう職員の指導と研修を行い、体制強化と再発防止に取り組みます。

議員 町長の責任はどのように取られるか伺います。

町長 職員の意識啓発とチェック体制の強化を図ることが、私の果たす責任の取り方であると感じています。

議員 なぜ3カ月以上も放置していたのですか。

町長 日野町条例ではなく地方公共団体等に町有地の無償貸し付けができるという条文があり、この解釈を誤って執行したことが原因だと反省しています

【採決】 全員賛成 可決

挙への従事も宿日直もできません。町長 国に対して地方交付税等を要望しているところで

○根雨地区雨水排水対策事業について

議員 約20年前は、補償問題が出て事業ができなかった。今回の説明会では、住民からの補償意見はありましたか。

議員 今のお客様のニーズに合わせる改修等が必要ではないですか。町長 検討したい。

○日野町交流センターの指定管理者の指定について

町長 出ませんでした。商店への営業補償は行わない考えです。説明の機会も随分あると思います。しっかりと説明していきたい。

町の観光振興を図るうえで必要な施設であり、宿泊施設として大変重要な場所としてなくてはならない施設と考えます。

募集方法は、日野町ホームページに掲載、インターネット等で全国に発信する他、業界ネットワークを有効活用し、広く発信して募集をしていきます。選定はその後に選定委員会で審査し、12月議会で議会提案してまいります。

議員 指定管理料は、年間1200万円です。現在より200万円増額となります。その根拠と、今後利益が上がった場合はどのようにするのか。

町長 経営診断資料から増額する必要があると判断しました。

課長 単年度決算で利益が得られた場合は、黒字相当額の2分の1を町に納付するものとなります。

【採決】 全員賛成 可決

### 一般会計補正予算

○債務負担行為として、町交流センター(リバーサイドひの)指定管理料限度額3600万円を、令和2年度から令和4年度までの3年間負担するもの。



リバーサイドひの

### 【質疑】

議員 指定管理者募集方法と施設の使用目的についてお尋ねします。

課長 山村地域の活性化と、地方と都市との交流を目的とした施設です。日野



## 平成30年度決算審査特別委員会 議会の指摘に対する町の取り組みと改善策

### 収入未済額について

収入未済額は昨年より減少しているが、さらなる改善を求める。また、固定資産税と国民健康保険税とで約190万円の不納欠損処分をしており、新規の滞納者も生まれている。納税義務意識の徹底と調査を十分に行い、徴収に努められたい。

ように十分に注意します。予算編成時に精査し、事業が確定した際はそのつど予算補正を行います。

### 伯備線利用

#### 促進事業について

事業を予算化しているが、この2年間、会議が開催されていらない。危機感を持って取り組まれない。

町対策 今年度中に、利用者増加を目的とした施策を考える会議を開催する予定です。



伯備線走る特急やくも

### 不用額について

予算化しながら多くの不用額が出ており、さらに未執行の事業もある。十分な事業計画を立てた上で予算化されたい。

町対策 特段の理由のない未執行事業が発生しない

## 委員会報告

### 総務経済常任委員会

総務経済常任委員会では、町内の事業者の方々の意見交換や聞き取りを通じて課題を把握し、今後の議会活動に役立てたいと活動しております。

9月には町内地域交通の担い手である日野交通と意見交換を行い、続いて日野町の最重要産業である農業について関係3団体と意見交換を重ねました。

### 農業委員会との

#### 意見交換

(11月7日)

### アンケート調査結果

農業委員会は過日、町内農業者に対し、現在行っている営農の持続可能性についてアンケート調査をされました。

その集計結果を資料として提供いただいたのですが、その内容はある程度予想されていたとはいえ、衝撃的なものでした。5年後



進む耕作放棄

の耕作継続の可能性について約3割の農家が否定的であり、半数以上の農家が高齢化によって耕作放棄地が蔓延すると答えられています。

当委員会においても深刻な問題であると改めて深く認識しました。以下は、意見交換会で出された主な意見です。

### 買い物福祉サービス支援 事業のうちの見守り活動 に対する補助について

買い物福祉サービス支援事業は一定の効果が上がっている。しかし、そのうちの見守り活動については、ボランティアで行っている多くの団体があるので、公平性が考慮し、仕組みを再考されたい。

町対策 見守り活動については現在約30の事業者と協定を結び、これらは無償のボランティアで行われています。これに対し買い物福祉サービス支援事業は、見守り対象者全員に定期的な見守り活動が担保されているものです。現在の仕組みを基本としながら、必要があれば見直しを行い、今後も継続していきたい。

### 地域活動支援

#### 交付金について

有効な事業と思われるので、使い道の具体的な情報を広く提供して、制度を活用する団体を増やし、事業

効果を上げていただきたい。

町対策 今後も周知を続け、多くの自治会等に活用していただきたい。

### 介護福祉士養成奨学金 制度について

制度の利用者が非常に少ない。要綱の見直しを検討するなどして事業効果を上げられたい。

町対策 引き続き制度の広報・周知を行い、3年間の推移を見ながら状況に応じて見直しを行いたい。

### 畜産振興について

畜産振興については、育



地域活動交付金は麹づくりにも活用されている

成牛の導入助成だけでなく、新規就農者の育成にも努められたい。

町対策 現在、新規参入農家に対する開業支援や経営規模拡大支援が可能となるよう、畜産振興基金の見直しなどの検討を行っています。

### 町道下黒坂線

#### 道路改良事業について

財源は国の社会資本整備事業なので、予算確保には積極的に取り組まれない。

町対策 予算確保については、すでに国・県に要望しています。

○次の世代がいらない。  
○兼業体制が主力になってくるのではないか。

○耕作者がいなくなる耕作地については、中間管理機構を通じた集積を進めていくことになる。ただ、この機構の仕組みの情報については末端にいきわたっていない感もある。

○今後は、守る農地、守らない農地のすみわけが必要になってくるかも。  
○一般農家は農林振興公社に頼る部分が大きくなる。

### 日野農林振興公社との 意見交換

(12月3日)

#### 農林公社の仕事

○田植え、稲刈り、除草などの請負。

#### 課題

○収支は今のところほとんどであるが、現状では大型コンバインなど資本的な機械の購入は町の補助なしではできない。

○町内農業の今後を考えれば、公社の事業は拡大しなければならぬが、一方で作業員の高齢化もあり、人員の確保が今後の課題となってくる。  
○効率化のためには機械を大型化するためには必要があるが、反面アクセスの悪い小さな農地は手が回らなくなる。

### 前鳥取県農業会議会長 上場重俊氏との意見交換

(12月17日)

存在し、一方では高齢化と人口減が進行するという環境の中、農業の継続的な担い手をいかに確保するか、その方策の必要性を力説されました。

これまでのまともも兼ねて、前鳥取県農業会議会長で鳥取県農業農村担い手育成機構の理事長等を歴任された上場重俊氏に来訪いただき、「農地と担い手の現状と課題」と題して意見交換を行いました。

相続登記の不備から「所有者不明の農地」がかなり



上場重俊氏との意見交換





松尾 信孝議員

# 任期も半ば近く、 これまでの町政の自己採点は

## 答 まだまだ道半ばです

議員 町長が選挙公約や施政方針で謳われた多くの項目の課題について達成状況を伺います。

まず、地域資源を活かした産業の振興と6次産業化の課題はどうなっておりますか。

町長 産業振興課の機構改革を行い、産業を一体的に取り組む体制を作りました。

議員 昨年の答弁では、資源は役場主体で見出し、6



伯備線根雨駅

次産業化に向けて取り組むと言われたが、今回の答弁ではその視点が欠如しているのではないのでしょうか。

町長 シイタケなどいくつかの端緒は見えました。が、今後も引き続き意欲ある事業者の支援を続けたいと思っています。

### 伯備線の利用促進

議員 昨年、予算が全く使われていないことで発覚し

議員 日野町で管理している橋梁で建築後50年を超える橋の数と、今後10年市内に50年に達する橋はいくつありますか。

町長 管理橋梁数は98あり、50年を超えるものは現在23橋で、10年後には52橋となります。

議員 災害発生後、道路・橋梁・トンネル・河川堤防等については、国・県が被害状況を一齐に総点検を実施

議員 12月22日に資料提供された38橋を自分で目視点検しました。結果、ガードレールの曲がり、橋のひび

施しています。

日野町の町道・橋梁は現在、本当に安全でしょうか。

課長 平成26年から30年度までにトンネル4か所、橋梁98橋すべて点検を終了しています。災害発生後の点検は目視による確認をしています。

町長 管理橋梁数は98あり、50年を超えるものは現在23橋で、10年後には52橋となります。



金川 守仁議員

# 「町道・橋梁長寿命化計画」 の実情を尋ねます

## 答 「日野町公共施設等総合計画」 で検討してまいります



日野町道にかかる橋の劣化状態、さびているだけなのか？根巻きの状態が気にかかる。

議員 災害発生後、道路・橋梁・トンネル・河川堤防等については、国・県が被害状況を一齐に総点検を実施

議員 12月22日に資料提供された38橋を自分で目視点検しました。結果、ガードレールの曲がり、橋のひび

たのですが、公約に謳われながら、新庄村、江府町などを巻き込んだ根雨駅利用促進協議会も埒田町政になってから全く開催されていません。

町長 その通りです。昨日協議会を開催しました。

議員 JRと交渉して、割引特急券など町民が気軽に特急を利用できる仕組みや、日野高校魅力向上の一環と

して、通学の特急利用への助成など考えられませんか。

町長 協議会と協力して取り組んでみたい。

議員 任期の半ばに差し掛かり、これまでの町政をどのように自己評価されますか。

町長 まだまだ道半ばで評価点数はつけられません。



機構改革が進む産業振興課



通行規制総重量4トン規制がかけられていた根妻橋。規制解除されていないのに、規制看板がない。

われ大、総トン数規制看板なし、橋の名板なし、など不具合を発見しました。また、敷津橋は進入禁止看板と通行止め看板があります

が、人は自由に出入りできて危険な状態です。再点検が必要だと思いませんか。

課長 内容については把握しておりませんので、早急に現状確認を実行し、点検・診断の結果を取りまとめて記録を行います。今後のメンテナンスサイクルを

確定し、トンネル、橋の長寿命化を図りたいと考えます。

議員 新たなインフラ長寿命化では、交付税措置率も30%から最大50%まで引き上げられますので、予算措置を講じられてはいかがでしょうか。

町長 日野町公共施設等総合管理計画で検討したいと考えます。





安達 幸博議員

# 原発の再稼動には周辺自治体の了解も必要では

## 答 立地の自治体だけの判断に違和感



滝山ヘリポート工事中

議員 原子力災害避難計画の住民周知を伺います。

町長 原子力災害避難計画は、島根原発から30km圏内の米子市、境港市が該当します。

議員 本町は50<sup>+</sup>圈内だから安全ですとは言えません。

町長 北西の風があれば放射能に汚染されます。本町においても避難訓練や避難住民の訓練が必要と思われ

れます。

町長 本町は広域避難者の受け入れをする避難計画です。避難者受け入れ訓練を、毎年鳥取県が開催しており、日野町職員も参加しておりますが、本町の避難所開設訓練は検討課題です。

議員 原発再稼働の所見を

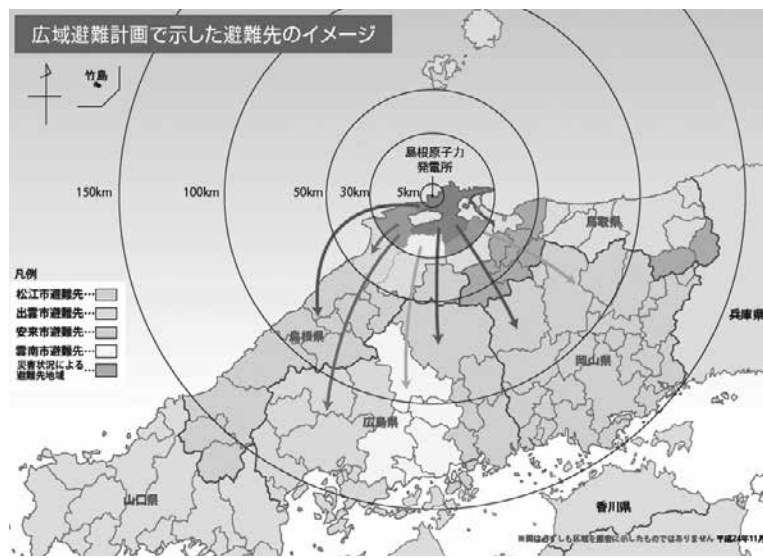
伺います。

町長 原発の再稼働は、原子力規制委員会が新規基準に適合すると認め、さらに原発が立地する地元の理解を受けて再稼働を進めることが政府の方針であると承知しています。

議員 原発が立地する自治体の判断だけでなく周辺自

治体の境港、米子、そして西部7ヶ町村の事前了解を求めませんか。

町長 原発立地の自治体だけの判断には違和感を感じます。鳥取県、境港市、米子市は、再稼働判断に周辺自治体も加えるよう述べられていますが、その姿勢は当然だと認識しております。



避難計画イメージ図

議員 滝山にヘリポートが整備されますが、ヘリポートを活用した防災訓練と計画を尋ねます。

町長 ヘリコプターの集結力、機動性を生かした航空救援活動の有効性など防災基地の完成に合わせ山林火災等の散水、空中消火などの訓練を予定しています。

議員 厚労省はこの9月、公立病院を含む全国で3割にも及ぶ424病院の名前を突然挙げ、令和2年9月までに再編・統合の報告を上げるように求めてきました。

町長 内容は機械的・一律な評価で、地域包括ケアシステムの努力も無視した。地方自治を無視したものであり、日野病院の名前は上げられていないが、日野町も対岸の火事では済まされない問題です。

町長 名前こそ上がってないが対岸の火事ではないと思っと思っています。医療費の急増する25年問題への対応を促進するためだと説明しているが、機械的な病院統合が強行されると地域包括ケア体制の構築や地域医療の確保ができなくなる。特に日野病院は、県下の病院と一緒に地域医療

# 日野郡の医療を守る先頭に

## 答 病院間の連携の中で進めて行く



佐々木 求議員



日野病院

の重要性を発信しており、地域の中核病院として住民の生命・健康を守るため努力しています。

今後、医療体制、機能分化など病院間の連携の中で進めていきます。郡の連携会議の主催で講演会なども進めていきます。

議員 提案しても仮避難所のチェックシートでの点検はなかなか行われないが、防災・バリアフリー化の観



中菅地区公民館

点で、現在あるトイレ・玄関回りの改修に財政支援をさらに充実していく考えはないですか。三分の二(上限20万円)では少ない。耐震工事の必要もあります。

町長 自主防災組織で確認検討・チェックしていただきたい。集会所の整備等に活用できる補助制度をご案内するので積極的に活用していただきたい。





中山 法貴議員

# 地域とともにある 学校づくりへの取り組みは

**答** 参画していただける方を増やすのをまず目的に



黒坂小学校

**議員** 全国学力・学習状況調査において、日野町の子どもが学力が平均を下回っている原因は何だと考えていますか。少人数教育であれば全国平均を遥かに超える学力を養えるはずでは。

まっていたいただき検討分析をしていただきました。方向性を出していただいています。

**教育長** 一つの調査の結果ですが、それをもって全て教え方がまずかったとは言えないのではないのでしょうか。教務主任の先生に集

**議員** 将来の夢や目標、地域社会への関心が低い原因は何だと考えますか。また、地域とともにある学校づくりはどのように取り組みますか

**町長** 大人と出会う機会が少ないことが原因と考えら



根雨小学校

れます。大人とふれあうことで将来の夢や目標を持つたり、社会への関心が高まると考えます。

## 小学校の統合について

**議員** 小学校の統合についてどう考えていますか。

**町長** 校区審議会の議論に影響を及ぼしかねないので、現段階で考えを述べるのは控えます。

**教育長** 参画していただける方を増やすのをまず目標に学校づくりをしていきたいです。

# 地域防災力の向上に 防災士の積極的導入を

**答** 町民への周知を広げ、町職員にも薦めたい



梅林 敏彦議員



防災士は日本防災士機構が認定する制度

**議員** 地域の防災力を向上させるには、行政によるハード事業の他に、住民自らがどうやって命を守るのかというソフト面での意識の醸成が急がれます。そうした面の民間の防災リーダーとして、近年、防災士という存在が全国の自治体で注目され始めています。現在、全国で約18万人、鳥取県では903人です。日野町には何人いますか。

**町長** 県が実施する防災士養成研修に、町は受講料や

資格取得登録料を負担して参加住民を募っており、29年度に1名、30年度に2名の方が取得されています。また、町の制度とは別に取得された方が役場職員以外に8名おられます。今後も積極的に防災士資格の取得について広めていきたいと思っています。

**議員** では、役場職員で資格を取得した人は何人ですか。

## 危機管理官

そのうち特例（試験免除）で資格を認められた者は私1名です。

**議員** とすると、町職員のうちで自らの意思で研修と試験を受けた人は、わずか一人。これでは大変まずいのではないのでしょうか。

黒坂地区自主防災委員会という組織があり、全町一斉防災訓練の際には避難所である町公民館などで町職員とともに避難所運営の実



黒坂地区自主防災委員会が主催する避難所運営訓練

地訓練をしています。が、一般的な印象を言えば、職員の熟練度が非常に浅いと聞いています。こうしたことから、職員の防災士養成は大きな課題だと思っておりますが、町長の見解を伺います。

**町長** 防災士の資格取得は職員の訓練の一つの手法だと思っております。可能な限りチャレンジするよう周知します。



# 特集 行動

がんばっている人・団体を、シリーズで紹介しています。

## 真住公民館手芸グループ

### 楽しくて、気持ち元気になるから通っています！

「明けましておめでとうございませす。今年も頑張りましょう！」

令和2年の松の内が明けた最初の水曜日、弾んだ声とともに、ここ真住公民館の一室に続々と女性たちが集まって来ました。真住公



真住手芸グループの皆さん

「水曜日が来るのが待ち遠しくて(笑)」  
真住に手芸グループが誕生したのは、平成20年のこと。日野町青年の家が真住公民館として再スタートする際、文化祭を毎年開催しようということになりました。文化祭と言えば、作品展示が必須。そこで、女性たちから提案

されたのが手芸品だったというわけです。  
以来12年、グループの会員数は創設当初の20人前後を維持し続け、減ることはありません。  
高齢などで一人退会すれば、また一人、新しい人が入会してきます。  
「勤めている人が定年で退職されたら、こちらから声をかけて誘うんですよ」  
これまで作ってきた手芸品は、袖なし、エプロン、帽子、腕抜き、鍋敷き、セーターなど、すべて生活必需品。  
年齢層は60歳代から70歳代。80歳を超えてなお元気に通う方もいます。  
では、この人気の秘密はどこにあるのでしょうか？  
3年前に入会したという会員が、弾んだ声でその答えを明かしてくれました。  
「毛糸の座布団を編み始めたのはいいものの、私は不器用で失敗ばかり。そのたびに毛糸をほどこいて、もう心が折れかかったけど、あるとき、先輩に『あんた、上手になったねえ』と褒められて。もう、嬉しくて、嬉しくて。今はここに来る

のが楽しくてしようがないです」  
ベテラン会員が新人を教え、その新人が何年後かに教える側に回るので。  
また、別の会員はこうも話します。  
「家に一人いると、1日中にも話さない日がある。けど、ここに来るとみんなと話ができる。情報交換できて、いろんなことがわかる。気持ち元気になるんです」  
全国各地の例に漏れず、真住地区にも過疎の波が押し寄せています。しかし、過疎の中にあってもどう元気に暮らしていくか、その理想形の一片がここにあるように思えた取材でした。



毎週水曜日に開催されている手芸教室

## あとがき

明けましておめでとうございませす  
昨年率直なご意見、貴重なご意見をいただき、まことにありがとうございます。そして、そうしたご意見のひとつひとつを斟酌しながら取り組んできたつもりですが、不十分なこともあったのではと反省しています。

『議会だより』の編集は、原稿の依頼、取材、記事の執筆、撮影、校正、レイアウトまで、すべてを私たち委員の手で行っています。少しでも良いものを目指そうとすると、みなさんからのご意見は大きな力になります。

今年がみなさんにとって幸多い年でありませすようお祈りすると共に、さらなるご意見をいただきますようお願い致します。  
(佐々木求記)

議会広報常任委員会

委員長 金川 守仁  
副委員長 梅林 敏彦

佐々木 求  
中原 信男  
松尾 信孝  
中山 法貴